埼玉県南部地域トップに聞く

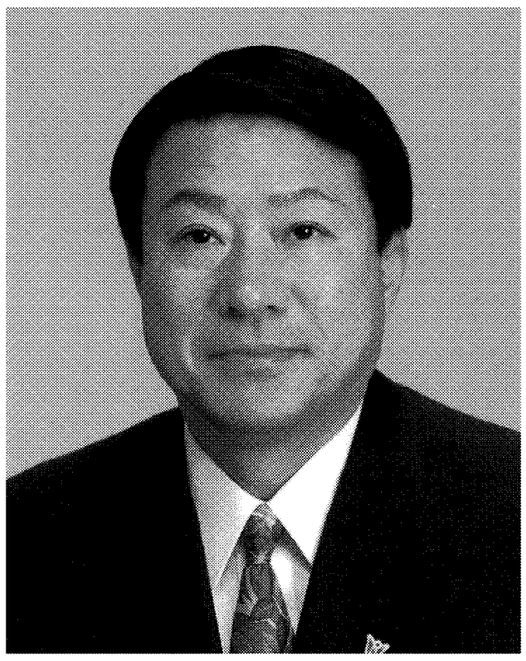
川口市、戸田市、蕨市合わせて2500以上（2009年工業統計調査・従業者4人以上が対象）の製造業事業所が所在し、県内最大級の産業集積地となっている埼玉県南部地域。自動車、一般機械、食品、印刷などさまざまな分野の企業が立地している。とりわけ、川口の地場産業である鋳物をはじめ、機械加工、表面処理などモノづくりの根底を支える中小企業が多いのが特徴。日本経済の発展に長年貢献してきた。

ここ数年、国内市場の縮小と海外企業との競争は製造業の共通課題。そんな中、技術力で勝負してきた中小企業にとって、特に厳しい状況が続いている。

技術面で優れたモノづくり企業だが、販路開拓や海外展開など弱みが存在するのも事実。だからこそ、公的機関などを含め地域一体で産業を盛り上げる必要性が増している。行政、経済団体、企業経営者など県南地域産業界のキーパーソンに展望を聞いた。

海外展開をサポート 川口の技術を世界へ

川口市長　岡村幸四郎



昨年、市内産業界は、円高、デフレの長期化、東日本大震災の影響により大変厳しい状況に直面した。現在、企業や市民の努力と協力により市内経済活動は順調に回復基調に戻りつつあるが、世界経済の低迷や国内における電力料金引き上げへの懸念などにより、先行き不安が拭いきれない状況が続いている。

このような中で、本市では「産業の振興なくして街の前進なし」の信念の下、国内外の経済の現状や今後の見通しを的確に把握し、情報提供を行うなど、できる限りの支援を行っている。3月には、地域中小企業の海外展開を支援するため、「海外展開支援セミナー」を開催する。

市内中小企業には、国内だけでなく海外にも目を向け、本市産業が持つ技術、製品を大いにPRしていただきたい。

世界で活躍する日本の製造業を支えているのは、部品、部材を製造する中小企業だ。また、オンリーワンの技術を持つ中小企業も多い。

日本だからこそできるJAPANブランドに誇りを持つ中小企業は、将来も必ず世界の信頼を勝ち得ると確信している。

国に対しては、まず被災地の一日も早い復旧・復興と力強い景気回復に取り組むことを強く望む。また、消費税、環太平洋連携協定（TPP）、電力料金問題などについて、復興の基盤となる産業界への影響に十分配慮した慎重な対応を求めたい。

開発・立地を積極推進 中小企業振興に力

戸田市長　神保国男

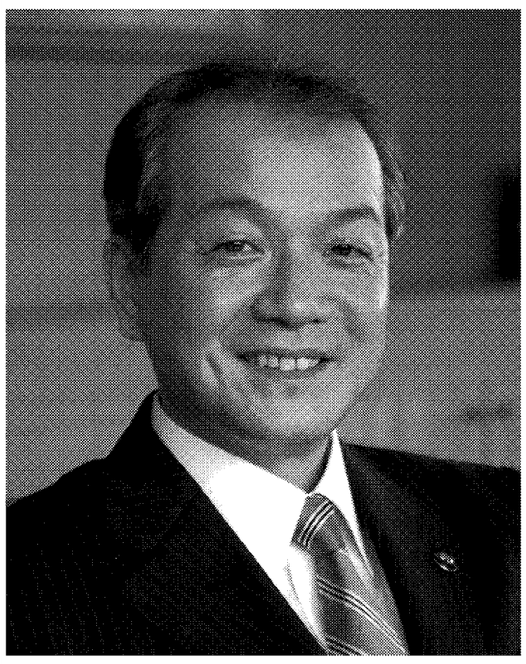
戸田市に限らず全国的な状況といえるが、市内中小企業を取り巻く経済状況は依然厳しい。リーマンショック、長引く円高やデフレ、東日本大震災などの影響により、製造業を中心にダメージを受けている。こうした外的要因による構造不況には、自らの努力だけでは対応し難い面がある。しかし、だからこそ市内事業者には、新たな技術開発や新製品の開発に意欲的に取り組み、競争力を付けていただきたい。

市としては、引き続き新技術開発や企業立地に対する補助事業を行うとともに、新年度の施策として、迅速で利用しやすい制度融資とするための条例改正を考えている。利用目的や融資規模に応じて埼玉県の融資と戸田市の融資を選択し、安定した操業や経営の拡大に生かしていただきたいと思う。

2010年6月に閣議決定された中小企業憲章の基本理念では、「中小企業は、（略）社会の主役として地域と住民生活に貢献し、（略）地域社会の安定をもたらす」とある。さらに、「難局の克服への展開が求められるこのような時代にこそ、これまで以上に意欲を持って努力と創意工夫を重ねることに高い価値を置かなければならない」と結ばれている。昨年制定した戸田市中小企業振興条例の目的および基本理念でも同義のことを規定している。これを具現化するよう、施策を検討するとともに、過半を中小企業関係者で構成する中小企業振興会議からの積極的な提言を期待する。

市街地活性化に注力 にぎわいあるまちへ

蕨市長　頼高英雄



2011年は、わが国が東日本大震災と原発事故という大変な困難に直面した年だった。蕨市でも一時避難所の開設や義援金、被災した自治体への職員派遣など、被災地支援に取り組んできた。今年は、復興に向けて希望の持てる年にしなければならないと思っている。

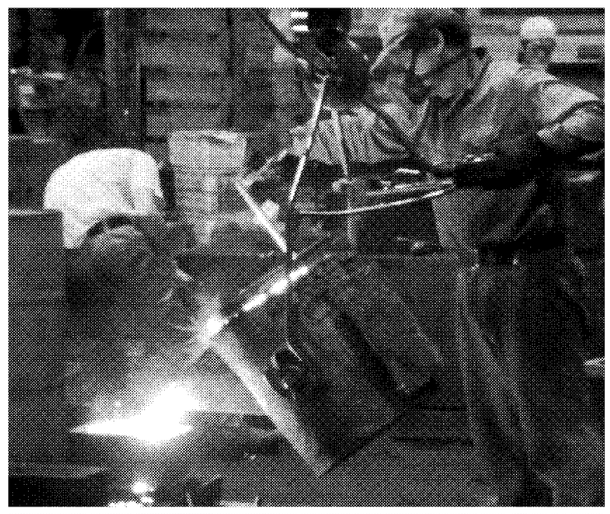
私の2期目のマニフェスト「新あったかプラン」では、これからの蕨市のビジョンの一つとして「にぎわいと活力あるまち」を掲げている。その鍵は、日本一のスモールタウンの「蕨」ならではの利便性の高さ、優れた地域力を生かし、協働の力で活性化を進めることにある。

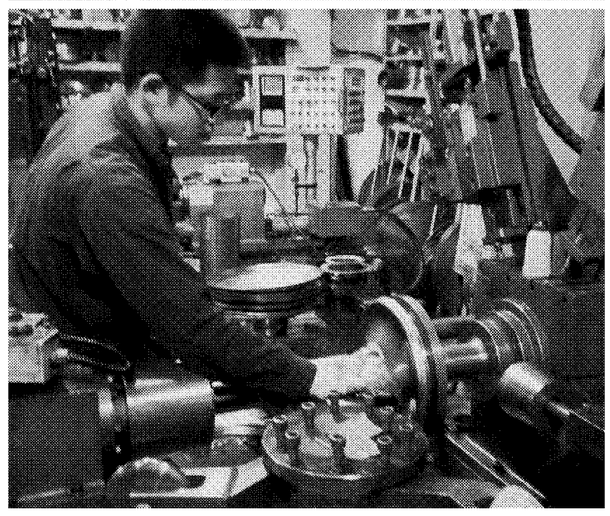
今年は、昨年策定した中心市街地活性化計画の本格的推進の年にしたい。3月には、計画の推進母体となる蕨市中心活性化協議会の設立を予定している。

既に11年10月には、蕨市にぎわいまちづくり連合会との協働により、駅前通りに、県内初のワンデイシェフレストラン「ぷらっと」をオープンさせることができた。新たな市民の憩いと交流の場として、にぎわいのあるまちづくりに貢献している。

このほか、11年度から実施し3件の実績があった空き店舗有効活用事業を更に拡充させる方針だ。また、町会が行うゴミゼロ運動などの地域貢献活動に対して地元商店で使用できるポイントを付与する制度も創設する。

これからも蕨の強みを生かし、商工会議所や市民の皆さんとともに、蕨の限りない発展を目指していきたい。





川口の市内企業を応援します

当公社では、地場産業の振興と地域経済発展のため、市内企業・地場産品の紹介など川口の産業の情報を発信するとともに、展示会出展及び特許出願審査請求に対する助成金、新製品開発振興に対する奨励金制度や商談会の開催、取引の斡旋なども行っております。

財団法人　川口産業振興公社
〒333-0844
埼玉県川口市上青木3-12-18　埼玉県産業技術総合センター 7階
TEL048-263-1110　FAX048-262-8882
http://www.kawaguchi-net.or.jp

積極果敢
～地域そして会員のために　すぐ実行！　すぐ行動！～
川口商工会議所
http://www.kawaguchicci.or.jp
〒332-8522　川口市本町4－1－8　川口センタービル8階
TEL 048－228－2220　FAX 048－228－2221

高品質の鋳物・納期厳守で供給
ユーザーと共に歩んで1,000年……
これまでも　これからも　それが「川口鋳物」の証・誇りです
私達は守ります
製造業のサポーティング・インダストリーとして
『素形材産業取引ガイドライン』をもとに
ベストプラクティス（望ましい取引慣行）を求めて
認証官公需適格組合
川口鋳物工業協同組合
理事長　伊藤光男
〒332-0011　川口市元郷2-1-3　TEL 048-224-6200　FAX 048-224-1536
http://www.kawaguchi-imono.jp/